

# 2022年度（令和4年度）

## 産業・地域版デジタル化実行計画 評価報告書

### 産業のデジタル化

#### 【総括（評価のまとめと今後の方向性）】

##### 【企業経営の高度化】

市内企業での自由な働き方の推進や新たな価値の創出に向け、セミナーでの意識啓発やITツール導入の補助などを実施した。これにより、市内企業における業務効率化などの事例につながった。一方で、デジタル化の相談件数やセミナーの参加者数が目標を下回る状況であった。今後は、企業経営の高度化に向け、企業のデジタル化の事例を現地で確認できる機会を提供するほか、引き続き産業支援団体等と連携したセミナー周知などにより参加企業の増加に取り組む。

##### 【市外から人を呼び込む産業づくり】

実行計画のスタートに合わせ、産学官でデジタル化を推進するためのデジタル化推進会議を立ち上げ、産業・地域分野の事業の改善や立案を行った。引き続き実行計画の推進に取り組む。また、市外から人材を呼び込む取組として、市内企業と首都圏等のデジタル人材の交流を実施した。引き続き、課題解決に取り組む市内企業とデジタル人材のマッチングを推進する。

##### 【産業のデジタル化をけん引する人材育成】

中小企業のデジタル人材育成については、業務効率化につながるクラウドサービス等の実践セミナーやAI導入講座を開催した。今後は、講座内容を拡充するとともに、開催回数を増やすことで企業の人材育成につなげる。

将来を担う人材育成については、子どもを対象としたデジタル技術等の体験イベントや民間企業と連携した大学生向けの課題解決講座を実施した。今後は、子どもや学生を対象とした取組に地元企業の参画を進めることで、地元企業を知る機会にもつなげる。

#### 【評価結果一覧】

基本方針	施策	事業数	評価
1 企業経営の高度化	(1) 業務効率化や働き方改革支援	8	C
	(2) 情報発信・採用活動のデジタル化支援	3	C
	(3) 事業モデルの転換支援	2	C
2 市外から人を呼び込む産業づくり	(1) 産学官連携と実証実験の推進	5	B
	(2) デジタル観光コンテンツの開発と発信	2	A
3 産業のデジタル化をけん引する人材育成	(1) 企業のデジタル人材育成支援	2	B
	(2) デジタルを学ぶ機会の提供	3	A

#### —評価方法について—

① 各施策に位置付く事業の目標達成率を算出し、点数化

5点（◎）：達成率 100 %以上

4点（○）：達成率 80 %以上 100 %未満

3点（△）：達成率 60 %以上 80 %未満

2点（×）：達成率 60 %未満

② 施策ごとに平均点を算出し、評価

A：平均 4.5 点以上

B：平均 3.5 点以上 4.5 点未満

C：平均 2.5 点以上 3.5 点未満

D：平均 2.5 点未満

基本方針1 企業経営の高度化

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(1)業務効率化や働き方改革支援	<p>【中小企業の業務効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・びんごデジタルラボでは、ペーパーレス化等の意識醸成や市内企業9社のデジタル化成功事例共有などのセミナーや議論の場を計10回開催し、延べ219社が参加した。</li> <li>・びんごデジタルラボの参加企業数が目標に達しておらず、引き続き参加者を増やすための取組が必要である。</li> <li>・ICTの導入等に関する相談窓口（びんごICT相談所）を運営するとともに、業務効率化等に使える補助金（ふくやまIT導入支援事業補助金）による支援を実施し、従業員の勤怠管理システムの導入などにつながった。</li> <li>・ICT相談所の相談件数についても目標に達しておらず、利用者を増やすための取組が必要である。</li> </ul> <p>【農林水産関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業技術の導入補助件数が目標に達しておらず、制度利用者を増やすための取組が必要である。</li> <li>・有害鳥獣対策は、開発を希望する企業と連携して実証実験を実施し、実証により効率化が確認できたAIカメラ搭載の捕獲検知器の導入を決定した。</li> </ul>		<p>【中小企業の業務効率化】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・セミナー・イベント形式での事例紹介に加え、デジタル化の事例を現場で見る機会を提供する事業を新たに実施し、より分かりやすい事例啓発に取り組む。</li> <li>・ICT相談所の利用者数を増やすため、出張相談を実施し、様々なデジタル化の事例創出に取り組む。</li> <li>・また、各市町の産業支援機関等と連携してびんごデジタルラボやICT相談所の周知をすることで、参加者や利用者の増加に取り組む。</li> </ul> <p>【農林水産関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農業技術の導入による生産性向上を実感できるよう啓発に取り組む。また、対象者を畜産業や水産業に広げることで、支援制度の活用を促し、第1次産業全体の生産性向上に取り組む。</li> <li>・有害鳥獣対策では、導入した捕獲検知器を地域に貸し出すことで、捕獲の効率化に取り組む。</li> </ul>				
	評価	C					
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 中小企業デジタル化意識醸成事業（びんごデジタルラボ）	デジタル化に関心のない企業にも分かる事例等のセミナーを開催	セミナーの参加企業数（累計）	実績値／目標値	—	90社／120社	—／240社	—／360社
			達成状況	—	△	—	—
② 産業別デジタル化事例研究事業（びんごデジタルラボ）	デジタル化を議論する場をつくり、課題や成功事例等を共有	参加企業数	実績値／目標値	164社／150社	129社／180社	—／210社	—／240社
			達成状況	◎	△	—	—
③ デジタルツール導入促進・支援事業（びんごデジタルラボ）	HPで企業の導入事例を紹介し、現地に導入の疑問に答える人材を派遣	支援件数（累計）	実績値／目標値	—	19件／20件	—／40件	—／60件
			達成状況	—	○	—	—
④ 「びんごICT相談所」の運営	ICTの導入等の個別相談に応じる電話・Webでの相談窓口を運営	市内企業からの相談件数（累計）	実績値／目標値	33件／60件	62件／140件	—／240件	—／360件
			達成状況	×	×	—	—
⑤ 産業支援コーディネーターの派遣	企業の課題を相談できる、経営等専門知識を持った人材を派遣	相談企業数（市内）	実績値／目標値	102件／70社	107社／75社	—／80社	—／85社
			達成状況	◎	◎	—	—
⑥ ITツールの導入支援（ふくやまIT導入支援事業補助金ほか）	ITツールの導入等にかかる費用の一部を補助	補助件数	実績値／目標値	463件／400件	11件／10件	—／10件	—／10件
			達成状況	◎	◎	—	—
⑦ スマート農業技術の導入支援（生産性向上支援事業費補助）	スマート農業技術を導入する経費の一部を補助	事業利用者数（累計）	実績値／目標値	3件／3件	4件／6件	—／9件	—／12件
			達成状況	◎	△	—	—
⑧ デジタル技術を活用した有害鳥獣対策	捕獲の労力軽減や効率化を図るための検知器の実証実験や導入	有害鳥獣対策のための、現場に合った出沒・捕獲検知器の実証と導入	実績値／目標値	出沒検知器の実証実験	捕獲検知器の実証実験／出沒検知器及び捕獲検知器の実証実験	—／実証実験を踏まえ、機器の導入	
			達成状況	×	×	—	

## 基本方針1 企業経営の高度化

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(2)情報発信・採用活動のデジタル化支援	<p>【オンライン合同企業説明会の開催】</p> <p>・参加者と参加企業に対するアンケートから、満足度は90%と高く、採用活動支援に寄与できた。一方で、行動制限の緩和に伴い、オンラインによる参加者は減少した（新卒者・UIターン就職希望者を対象とする合同企業説明会全体の参加者は509人）。県外からの就職希望者の参加など、参加者を増やすための取組が必要である。</p> <p>【採用活動支援】</p> <p>・Web採用活動支援事業補助は、目標を大きく上回る利用があり、企業PR動画の配信などオンラインでの採用情報の発信につながっている。</p>		<p>【オンライン合同企業説明会の開催】</p> <p>・UIターンに関連したイベント等と連携して説明会の周知を強化するほか、市内企業の魅力を多くの学生に伝えるため、就職活動を始める前の学生も対象に拡大するなどイベント内容を見直し、参加者の増加に向けて取り組む。</p> <p>【採用活動支援】</p> <p>・インターンや企業情報の発信など、引き続きオンラインを活用した採用活動の支援に取り組む。</p>				
評価	C						
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① オンライン合同企業説明会の開催	オンラインによる合同企業説明会を開催し、参加企業の情報を配信	参加者数	実績値／目標値	330人／350人	130人／400人	－／450人	－／500人
			達成状況	○	×	－	－
② Webインターン等コンテンツの開発支援	Webインターン等のコンテンツ開発のためのワークショップを開催	参加企業数	実績値／目標値	5社／4社	3社／5社	－／6社	－／7社
			達成状況	◎	△	－	－
③ Web採用活動支援事業補助	企業のHPの採用情報の新設や動画作成等に係る経費の一部を補助	補助件数	実績値／目標値	－	123件／25件	－／25件	－／25件
			達成状況	－	◎	－	－

基本方針1 企業経営の高度化

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(3)事業モデルの転換支援	<p>【中小企業の販路開拓支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国内や海外などの展示会出展に係る補助支援を実施し、販路拡大を促進した（国内8件・海外1件・オンライン0件）。</li> </ul>		<p>【中小企業の販路開拓支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>企業の国内外への販路開拓の活発化に向けて、補助件数を増やすなど、引き続き販路拡大に向けた支援に取り組む。</li> </ul>				
評価	<p>【6次産業化に係るEC導入等の販路拡大支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>取組件数が目標に達しておらず、制度の活用を促す取組が必要である。</li> </ul>		<p>【6次産業化に係るEC導入等の販路拡大支援】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな活用事業者の掘り起こし等により、利用者の増加に取り組む。</li> </ul>				
C							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① 中小企業の販路開拓支援	新規事業開拓のために必要な展示会出展に係る費用の一部を補助	補助件数	実績値／目標値	8件／10件	9件／10件	－／10件	－／10件
			達成状況	○	○	－	－
② 6次産業化に係るEC導入等の販路拡大支援（6次産業化推進・設備整備等事業）	商品の生産・企画・開発・販路拡大等に係る経費の一部を補助	<small>新商品開発及び販路拡大への取組件数（2021年度のみ新商品開発件数）</small>	実績値／目標値	4件／5件	5件／10件	－／10件	－／10件
			達成状況	○	×	－	－

基本方針2 市外から人を呼び込む産業づくり

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(1)産学官連携と実証実験の推進	<p>【産学官連携の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化推進会議では、産業・地域の関係団体の意見を踏まえ、4件の新規事業の立案につながった。</li> <li>ふくやまビジネスキャンプでは、首都圏等のデジタル人材と市内企業のアイデアソンを開催した。イベント後も4件のプロジェクトにおいて、デジタル人材と市内企業の交流がオンラインで継続している。</li> </ul>		<p>【産学官連携の促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタル化推進会議で聴取した関係団体の意見を随時事業に反映するなど、引き続き柔軟な事業推進や、ニーズを活かした新規事業の立案に取り組む。</li> <li>引き続き市内企業とデジタル人材とのマッチングを実施し、事例の創出に取り組む。</li> </ul> <p>【実証実験まるとサポート事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>民間企業への支援だけでなく、本市の課題解決に寄与するテーマに取り組むことで、他自治体との差別化に取り組む。</li> </ul>				
評価	<p>【実証実験まるとサポート事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近年は多くの自治体が類似の支援を始めているため、他自治体との差別化に取り組む必要がある。</li> </ul>						
B							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 「びんごデジタルラボ」の運営	成功事例の共有や課題の議論の場に備後圏域外企業を呼び込む	びんごデジタルラボに参画する備後圏域外企業数（累計）	実績値／目標値	8社／10社	17社／20社	－／30社	－／40社
			達成状況	○	○	－	－
② 「（仮称）デジタル化推進会議」の開催	デジタル化関連事業の改善や事業立案のための会議の運営	事業立案件数（累計）	実績値／目標値	－	4件／2件	－／4件	－／6件
			達成状況	－	◎	－	－
③ 実証実験まるとサポート事業	実証実験に必要な場所の提供など、民間企業の実証実験を支援	サポート事業の実施件数（累計）	実績値／目標値	15件／15件	16件／25件	－／35件	－／45件
			達成状況	◎	△	－	－
④ 「ふくやまビジネスキャンプ」の開催	デジタル人材と市内企業が交流するアイデアソンの開催	参加企業数（累計）	実績値／目標値	13社／15社	28社／30社	－／45社	－／60社
			達成状況	○	○	－	－
⑤ サテライトオフィス等整備補助	サテライトオフィス等の開設や運営等に係る経費の一部を補助	サテライトオフィス等施設を利用する企業数（累計）	実績値／目標値	－	17社／10社	－／20社	－／25社
			達成状況	－	◎	－	－

基本方針2 市外から人を呼び込む産業づくり

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(2)デジタル観光コンテンツの開発と発信	<p>【オンラインツアー活用促進事業費補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における誘客の取組として、オンラインイベントを開催し、本市の魅力を訴求することができた。アフターコロナを見据え、観光需要の回復に合わせたデジタル活用による誘客に取り組む必要がある。</li> </ul> <p>【デジタル観光マップの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デジタルマップ（Webの地図上に観光地や飲食店舗等の情報を記載）を活用し、多くの方に観光関連情報を発信した。デジタルマップの閲覧促進のため、利便性の向上や周知に取り組む必要がある。</li> </ul>		<p>【オンラインツアー活用促進事業費補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市が有する観光資源に関心のある観光客に対して、効果的な情報発信に取り組む。</li> </ul> <p>【デジタル観光マップの整備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・登録スポットの定期的なクリーニングや新規スポットの登録など、デジタルマップの利便性向上やチラシ及びWeb上のバナーを活用した周知に取り組む。</li> </ul>				
評価	A						
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① オンラインツアー活用促進事業費補助	福山の観光資源と観光客をオンラインでつなぐツアーの実施	オンラインツアーの利用者数（累計）	実績値／目標値	—	101人／100人	—／200人	—／300人
			達成状況	—	◎	—	—
② デジタル観光マップの整備（「行政版デジタル化実行計画」より再掲）	Webサイトから閲覧できるデジタルマップに、見どころ、経路案内などの観光関連情報を表示	マップPV数	実績値／目標値	71,174／71,174	289,585／105,000	—／158,000	—／237,000
			達成状況	◎	◎	—	—

### 基本方針3 産業のデジタル化をけん引する人材育成

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(1)企業のデジタル人材育成支援	<p>【中小企業向け「びんごデジタルラボ・アカデミー」の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従来型の座学形式だけでなく、デジタルツールを体験しながら学ぶ機会を提供した。アンケートでは多くの参加者がツール活用の意欲が向上したと回答し、実装に寄与したと考えられる。参加者を増やすための取組が必要である。</li> </ul>		<p>【中小企業向け「びんごデジタルラボ・アカデミー」の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの企業が気軽にデジタルツールに触れられる機会を設けるため、開催回数を増やすほか、企業ニーズを踏まえたデジタルツールを選定する。また、企業団体等と連携して周知することで、参加者の増加に取り組む。</li> </ul>				
評価	<p>【「ものづくり大学」の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福山能力開発短期大学校や広島テクノプラザ等と連携して事業を実施し、参加者は昨年度を上回った。参加者を増やすための取組が必要である。</li> </ul>		<p>【「ものづくり大学」の実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座数の増加や活用事業者のニーズに合わせたオーダーメイドセミナーを提供するなど、講座内容を拡充することで、参加者の増加に取り組む。</li> </ul>				
<b>B</b>							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール	2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度	
① 中小企業向け「びんごデジタルラボ・アカデミー」の開催	デジタルツールを活用した業務効率化の実践セミナーの実施	企業向けアカデミーへの参加者数（累計）	実績値／目標値	—	55人／60人	—／140人	—／240人
			達成状況	—	○	—	—
② 「ものづくり大学」の実施	AI 導入に関するセミナーやシステム構築や導入研修等の実施	参加者数（デジタル関係）	実績値／目標値	108人／100人	184人／200人	—／200人	—／250人
			達成状況	◎	○	—	—

### 基本方針3 産業のデジタル化をけん引する人材育成

施策名	2022年度 実施状況の総括		今後の方向性				
(2)デジタルを学ぶ機会の提供	<p>【小中学生を対象としたデジタル技術等体験イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門人材によるプログラミングイベントや家族でデジタル技術等を体験できるイベントを開催し、目標の参加者数を達成することができた。アンケート満足度も概ね高かったことから、デジタル社会に必要なスキルや創造力の啓発等に寄与することができた。</li> </ul>		<p>【小中学生を対象としたデジタル技術等体験イベント】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続して小中学生や、家族で楽しみながらデジタル技術に触れる機会を提供する。</li> </ul> <p>【企業と連携したデジタル講座の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座回数や同時受講人数を見直すなど、企業負担のバランスを考慮しつつ、引き続き目標とする参加者の確保に取り組む。</li> </ul>				
評価	<p>【企業と連携したデジタル講座の開催】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目標を上回る参加となり、デジタル技術を活用した課題解決策を主体的に考える機会を地元大学生に提供できた。一方で、企業の協力によって開催できている側面も大きく、継続的な開催が課題である。</li> </ul>						
A							
個別事業名	事業概要	目標スケジュール		2021年度（参考値）	2022年度	2023年度	2024年度
① 専門知識を有する人材によるプログラミングイベントの開催	小・中学校等の子どもたちを対象としたプログラミングイベントの開催	参加者数（累計）	実績値／目標値	108人／30人	146人／45人	－／60人	－／75人
			達成状況	◎	◎	－	－
② 企業と連携したデジタル講座の開催	大学生を対象としたデジタル講座の開催	参加者数（累計）	実績値／目標値	59人／50人	119人／100人	－／150人	－／200人
			達成状況	◎	◎	－	－
③ 「びんごキッズラボ」の開催	子どもを対象としたデジタル技術等体験イベントの開催	参加者数	実績値／目標値	579人／500人	1,399人／1,000人	－／1,000人	－／1,000人
			達成状況	◎	◎	－	－